

【様式1】平成27年度 県中校長会 Web ページ版教育便覧

市町名	東広島市	学校名	西条中学校
校長名	中森 英雄	電話番号	082-423-2529
分野・領域	<input type="checkbox"/> 人材育成 <input type="checkbox"/> 学力・学習意欲 <input type="checkbox"/> 生徒指導 <input type="checkbox"/> キャリア教育 <input type="checkbox"/> 学校・家庭・地域の連携・協力 <input type="checkbox"/> 学校経営 <input type="checkbox"/> 服務研修 <input checked="" type="checkbox"/> 教育研究 <input type="checkbox"/> 進路指導 <input type="checkbox"/> 食育 <input type="checkbox"/> 教育課程 <input type="checkbox"/> 体力づくり <input type="checkbox"/> 情報教育 <input type="checkbox"/> 伝統文化 <input type="checkbox"/> 情報発信 <input type="checkbox"/> 危機管理 <input type="checkbox"/> その他（ ）		
当該ページのアドレス	http://www2.city.higashihiroshima.hiroshima.jp/~saijo-chu/		
研究主題	思考力・表現力を育成する授業の工夫 一言語活動など3つの視点の充実を通して—		
研究内容	<p>① 主題設定の理由 新学習指導要領実施以後、本校では、思考力・表現力の向上をめざして、「言語活動の充実」を重視した授業づくりに取り組んできた。昨年度、これまでの研究の成果をもとに研究対象の言語活動を、「自分の考えの形成」の場面に焦点化し、理論研修を中心とした全体研修を行った。同時に個々の指導力の向上をねらいとして、『授業づくり入門』作成や、教科部会別授業研修等を行った。 その結果、各種学力調査において、すべての教科で県平均を超えることができた。特にB問題で好成績を収めた。また、生徒の意識調査でも、「授業の中で『自分の考えを持つ』場面がある」、「授業の中で『表現したり発表したりする』場面がある」の割合が向上するなどした。 今年度は、昨年度までの研究の成果を踏まえ、「言語活動の充実」、そして「ICT 機器の活用」、「特別支援教育」を加え、3つの視点を取り入れた授業展開について研究を行う。このことにより、より効果的に生徒の思考力・表現力を高めることができると考える。</p> <p>② 研究仮説 授業過程において、ICT 機器の活用、言語活動の充実、特別支援教育の三つの視点を効果的に取り入れることによって、生徒の思考力・表現力を高めることができるであろう</p> <p>③ 研究内容 ICT 機器の活用、言語活動の充実、特別支援教育の三つの視点を効果的に取り入れた、各教科の単元開発。</p> <p>④ 検証の指標</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 「全国学力・学習状況調査」の結果 ・ 「標準学力調査」等、思考力及び表現力の問題の正答率（全体の正答率、C 評価の生徒の割合） ・ 生徒アンケート、教師アンケート結果 		
備考			

【様式1】平成27年度 県中校長会 Web ページ版教育便覧

市町名	東広島市	学校名	八本松中学校
校長名	松原 真奈美	電話番号	082-428-0202
分野・領域	<input type="checkbox"/> 人材育成 <input type="checkbox"/> 学力・学習意欲 <input type="checkbox"/> 生徒指導 <input type="checkbox"/> キャリア教育 <input type="checkbox"/> 学校・家庭・地域の連携・協力 <input type="checkbox"/> 学校経営 <input type="checkbox"/> 服務研修 <input checked="" type="checkbox"/> 教育研究 <input type="checkbox"/> 進路指導 <input type="checkbox"/> 食育 <input type="checkbox"/> 教育課程 <input type="checkbox"/> 体力づくり <input type="checkbox"/> 情報教育 <input type="checkbox"/> 伝統文化 <input type="checkbox"/> 情報発信 <input type="checkbox"/> 危機管理 <input type="checkbox"/> その他 ()		
研究主題	主体的に学び共によりよく生きようとする生徒の育成 ～「課題発見・解決学習」のカリキュラム開発を通して～		
当該ページ のアドレス	http://www2.city.higashihiroshima.hiroshima.jp/~hachihon-chu/		
研究内容	<p>① 主題設定の理由 昨年度は健康な体と粘り強く努力する心と豊かな人間性を備え持った「力ある人間」を育成するために、「単元の流れ」, 「授業の流れ」, 「学習規律」を共通の授業スタイルとする「八中スタイル」を土台として, 言語活動の充実, ICT機器の活用, 特別支援教育の充実の3つの視点で授業改善を行うことにより, 思考力・判断力・表現力を高めるための研究を進めてきた。今年度は昨年度までの研究内容を生かしながら, 県のパイロット校として, これからの社会で活躍するために必要な資質・能力の育成に向けて, その育成に効果の高い「課題発見・解決学習」をつくり出すための研究を進めていく。</p> <p>② 研究仮説 資質・能力の育成に効果の高い課題発見・解決学習のカリキュラム開発を行えば, 主体的に学び, 共によりよく生きようとする生徒を育成することができるであろう。</p> <p>③ 研究内容 昨年度までの研究で, 全教科において言語活動の充実, ICT機器の活用, 特別支援教育の充実の3つの視点で授業改善の取組を進め, 思考力・判断力・表現力の向上を図ってきた。今年度は, これまでに確立してきた八中スタイルの授業を土台として, 総合的な学習の時間と各教科において課題発見・解決学習のカリキュラム開発を目指す。これにより「主体的な学び」をつくり出し, 社会で活躍するための資質・能力をもち, 仲間と共によりよく生きようとする生徒「力ある人間」の育成を図る。</p> <p>④ 検証の指標 (1) 「全国学力・学習状況調査」B問題の正答率 (①全体の正答率, ②正答率30%未満の生徒の割合) (2) 「広島県『基礎・基本』定着状況調査」思考力・表現力の問題の通過率 (①全体の通過率, ②通過率30%未満の生徒の割合) (3) 「標準学力調査」活用に関する問題の正答率 (①全体の正答率, ②正答率30%未満の生徒の割合) (4) 意識調査による意欲・意識の高まり (5) 作成した評価指標による評価</p>		
備考			

【様式1】平成27年度 県中校長会 Web ページ版教育便覧

市町名	東広島市	学校名	志和中学校
校長名	森岡勝司	電話番号	082-433-2019
分野・領域	<input type="checkbox"/> 人材育成 <input type="checkbox"/> 学力・学習意欲 <input type="checkbox"/> 生徒指導 <input type="checkbox"/> キャリア教育 <input type="checkbox"/> 学校・家庭・地域の連携・協力 <input type="checkbox"/> 学校経営 <input type="checkbox"/> サービス研修 <input checked="" type="checkbox"/> 教育研究 <input type="checkbox"/> 進路指導 <input type="checkbox"/> 食育 <input type="checkbox"/> 教育課程 <input type="checkbox"/> 体力づくり <input type="checkbox"/> 情報教育 <input checked="" type="checkbox"/> 伝統文化 <input type="checkbox"/> 情報発信 <input type="checkbox"/> 危機管理 <input type="checkbox"/> その他 ()		
研究主題	『主体的に表現する子どもの育成を図る指導の工夫』 ～ 和文化学習を基盤に、協同的な学び合い活動の充実を通して ～		
H P	www2.city.higashihiroshima.hiroshima.jp/~shiwa-chu/		
研究内容	1 「授業」「ことば」における指導方法の工夫改善の取り組み (1) 学習に対する“型”を習得させる取組み ①言語技術の指導 ・“考えを深めるためのキーワード”と“発表方法”マニュアル化する。 ・あらかじめ書かせる項目を設定し、その後全体の感想文(作文)を書かせる。 ②語彙指導 ・丸暗記指導(できるまでさせる。) ・授業基本語彙(授業のキーワードの使い方が分かるようにする。) (2) 思考力を育成する取組み ①問題解決型学習による思考力の育成 ・個人追究と集団追究(課題に対して、自分で考える場面と班や全体で考える場面の設定と、グループ活動の進め方のマニュアル化) ・見通しをもたせる視点(過去の経験、既存の知識の活用(類比的推論)) ・和文化教材(多様な見方・考え方の可能な学習課題=実物・本物) ・振り返り 2 「体験」における指導方法の工夫改善の取り組み(武道その他) (1) “型”を習得させる取組み ①礼儀・作法 ②技の鍛錬 ③人を思いやる心 (2) 表現力を育成する取組み ①体験して学んだことを表現する。 ②体験したことを、他の生活場面で活用する。 3 「人間関係づくり」における取組み (1) 和の人間関係(学級集団)を育成する取組み ①二声あいさつ ②朝のHRでの構成的グループエンカウンター ③QUの結果を活用した学級集団づくり		
備考			

【様式1】平成27年度 県中校長会 Web ページ版教育便覧

市町名	東広島市	学校名	東広島市立高屋中学校
校長名	奥村 和幸	電話番号	082-434-0011
分野・領域	<input type="checkbox"/> 人材育成 <input type="checkbox"/> 学力・学習意欲 <input type="checkbox"/> 生徒指導 <input type="checkbox"/> キャリア教育 <input type="checkbox"/> 学校・家庭・地域の連携・協力 <input type="checkbox"/> 学校経営 <input type="checkbox"/> 服務研修 <input checked="" type="checkbox"/> 教育研究 <input type="checkbox"/> 進路指導 <input type="checkbox"/> 食育 <input type="checkbox"/> 教育課程 <input type="checkbox"/> 体力づくり <input type="checkbox"/> 情報教育 <input type="checkbox"/> 伝統文化 <input type="checkbox"/> 情報発信 <input type="checkbox"/> 危機管理 <input type="checkbox"/> その他 ()		
研究主題	「思考力・判断力・表現力を伸ばすための問題解決的な学習指導の充実」		
当該ページのアドレス	www2.city.higashihiroshima.hiroshima.jp/~takaya-chu/		
研究内容	<p>1 研究主題設定の理由</p> <p>昨年度の「基礎・基本」定着状況調査では4教科合計の学校平均通過率が74.2%で、基礎的・基本的な学習内容は全体としてほぼ定着していると考えられる。また、全国学力・学習状況調査では、国語・数学の2教科で、主として知識にあたるA問題の平均正答率79%、主として活用にあたるB問題の平均正答率は60%であった。これらの結果はいずれも県平均を上回ってはいるが、十分なものとはいえず、特に思考力・判断力・表現力を身に付けるための教育活動全体を通じた問題解決的な学習指導の工夫が求められる。</p> <p>1 研究仮説</p> <p>各教科において、課題を設定し、考えたり調べたりしたことを伝える活動をすれば、生徒の思考力・判断力・表現力を伸ばすことができるであろう。</p> <p>2 研究内容</p> <p>○学習指導要領を踏まえた思考力・判断力・表現力を伸ばすことをめざした授業づくり</p> <p>○学習情報センターとしての学校図書館等を活用し、課題を設定し調べたことを伝える授業の単元開発</p>		
備考			

【様式1】平成27年度 県中校長会 Web ページ版教育便覧

市町名	東広島市	学校名	松賀中学校
校長名	西田 俊徳	電話番号	082-422-6277
分野・領域	<input type="checkbox"/> 人材育成 <input type="checkbox"/> 学力・学習意欲 <input type="checkbox"/> 生徒指導 <input type="checkbox"/> キャリア教育 <input type="checkbox"/> 学校・家庭・地域の連携・協力 <input type="checkbox"/> 学校経営 <input type="checkbox"/> 服務研修 <input checked="" type="checkbox"/> 教育研究 <input type="checkbox"/> 進路指導 <input type="checkbox"/> 食育 <input type="checkbox"/> 教育課程 <input type="checkbox"/> 体力づくり <input type="checkbox"/> 情報教育 <input type="checkbox"/> 伝統文化 <input type="checkbox"/> 情報発信 <input type="checkbox"/> 危機管理 <input type="checkbox"/> その他（小中高英語教育強化拠点事業指定校：文部科学省：H26～29）		
研究主題	思考力・表現力を育てる授業のあり方 —「思考スキル」と「表現スキル」を活用した授業づくりを通して—		
当該ページのアドレス	http://ns.city.higashihiroshima.hiroshima./matsuga-chu/		
研究内容	<p>① 研究主題の設定について 本校では、一昨年度、学習規律の徹底と言語活動の充実に向けた取組を行い、思考力、表現力を高める教育活動について集中タイムやベーシックチェック、自主勉強ノートなど様々な研究を進めてきた。しかしながら、基礎的・基本的な知識・技能はほぼ定着しているものの、思考を深めたり説明をしたりする問題に課題があり、また、人前で自分の思いを話すことに苦手意識を持つ生徒が多い傾向にある。これは本校で取り組んできた思考力・表現力の育成がまだ十分には成果を挙げていないことを表している。思考力・表現力の基盤となる言語に関する能力を育成するためには各教科において細かなステップで思考させ、表現させるためのスキルを活用させることが必要だと考える。そこで、基礎的・基本的な知識・技能の習得、思考力、表現力の育成、主体的な学びの創造を研究の柱とし、授業の中で「思考スキル」と「表現スキル」を活用し、これらを習得させることで、思考力・表現力を育成する「授業のあり方」を研究することとした。</p> <p>② 研究仮説 松賀中学校授業スタイルに沿った授業展開の中で、「思考スキル」と「表現スキル」の活用を学ばせれば、生徒の思考力・表現力を育てることができるであろう。</p> <p>③研究内容 「習得の確認」→「目標の確認」→「個人思考」→「集団思考」→「個人思考」→「まとめ」を基本とした「松賀中学校授業スタイル」の中に「思考スキル」（生徒が自分の考えを整理し、根拠を筋道立てて考えるためのツール）「表現スキル」（自分の考えを相手にわかりやすく伝えるためのツール）の活用場面を設定する。そして、検証の指標によって成果と課題を検証し、授業改善を図る等、PDCAサイクルを活用した研究を推進する。</p>		
備考			

【様式1】平成27年度 県中校長会 Web ページ版教育便覧

市町名	東広島市	学校名	高美が丘中学校
校長名	脇坂治海	電話番号	082-434-0026
分野・領域	<input type="checkbox"/> 人材育成 <input type="checkbox"/> 学力・学習意欲 <input type="checkbox"/> 生徒指導 <input type="checkbox"/> キャリア教育 <input type="checkbox"/> 学校・家庭・地域の連携・協力 <input type="checkbox"/> 学校経営 <input type="checkbox"/> 服務研修 <input checked="" type="checkbox"/> 教育研究 <input type="checkbox"/> 進路指導 <input type="checkbox"/> 食育 <input type="checkbox"/> 教育課程 <input type="checkbox"/> 体力づくり <input type="checkbox"/> 情報教育 <input type="checkbox"/> 伝統文化 <input type="checkbox"/> 情報発信 <input type="checkbox"/> 危機管理 <input type="checkbox"/> その他（ ）		
研究主題	認め合い、互いに高め合う生徒の育成 ～教科や体験活動の特性を生かしたかかわり合いを通して～		
当該ページのアドレス	www.city.higashihiroshima.hiroshima.jp/site/takami-chu/		
研究内容	<ol style="list-style-type: none"> 授業や道徳の時間において、生徒の共感的な人間関係を育てる。 <input type="checkbox"/>教科の特性を生かした「かかわり合い」を明確にもち、その場面を授業に取り入れていく。また、生徒の主体的な学びを促す「課題発見・解決学習」のあり方を考える。 <input type="checkbox"/>道徳の時間などで多様な価値観にふれさせる場面をもつ。 <input type="checkbox"/>グループワーク等で意見を交流させることで、学びが深まった経験をする。 実践的かつ体験的な活動を充実させる。 <input type="checkbox"/>学校緑化活動を通して、生命を尊重する心を育てる。 <input type="checkbox"/>和文化活動，総合的な学習の時間において，それぞれの考えや作品を交流することを通して，コミュニケーション能力を養う。 <input type="checkbox"/>学校行事や特別活動，地域貢献活動を通して，生徒につけさせた力を明確にし，教職員間で共有する。 学校教育活動全体の連動を図り，研究を推進する。 <input type="checkbox"/>実践的体験的な活動の価値を道徳の時間で深化・統合・補充したり，教科の学習で題材を整理したり実践化したりすることで，生徒の心を育む。 <input type="checkbox"/>HRや掃除時間等の指導を通して，めざす生徒の育成に努める。 小中一貫・接続教育の充実を図る。 <input type="checkbox"/>9年間を通して連続性，一貫性のある指導のあり方を研修していく（教科，道徳の時間，生徒指導）*小中合同研修会の実施 		
備考			

【様式1】平成27年度 県中校長会 Web ページ版教育便覧

市町名	東広島市	学校名	東広島市立黒瀬中学校
校長名	石井 博基	電話番号	(0823)82-2039
分野・領域	<input type="checkbox"/> 人材育成 <input type="checkbox"/> 学力・学習意欲 <input type="checkbox"/> 生徒指導 <input type="checkbox"/> キャリア教育 <input type="checkbox"/> 学校・家庭・地域の連携・協力 <input type="checkbox"/> 学校経営 <input type="checkbox"/> 服務研修 <input checked="" type="checkbox"/> 教育研究 <input type="checkbox"/> 進路指導 <input type="checkbox"/> 食育 <input type="checkbox"/> 教育課程 <input type="checkbox"/> 体力づくり <input type="checkbox"/> 情報教育 <input type="checkbox"/> 伝統文化 <input type="checkbox"/> 情報発信 <input type="checkbox"/> 危機管理 <input type="checkbox"/> その他 ()		
研究主題	<p>「基礎的・基本的な学力を身につけ、学ぶ意欲を持った生徒を育成するための学習指導の工夫 ～目標達成に向け生徒相互に関わり合う言語活動の工夫を通して～」</p>		
当該ページのアドレス	www.city.higashihiroshima.hiroshima.jp/site/kurose-chu/		
研究内容	<p>①研究仮説 目標達成に向け生徒相互に関わり合う言語活動の工夫をすれば、基礎的・基本的な学力を身につけ、学ぶ意欲を持った生徒になるだろう。</p> <p>②研究内容 ・全教師が言語活動を取り入れた学習活動を授業に取り入れる。 ・「美しい授業五つの約束（生徒編・教師編）」の徹底により学習規律を確立する。 ・「黒中システム」の学習内容を改善するとともに、きめ細やかな指導を行う。 ・家庭学習習慣の確立と学習時間の増加を図る。 ・全国学力・学習状況調査、広島県「基礎・基本」定着状況調査の分析を行い、学力向上のための授業改善を行う。 ・生徒指導の三機能を生かす授業づくりを推進する。</p> <p>③検証の指標 ○基礎的・基本的な学力の分析 ・全国学力・学習状況調査、広島県「基礎・基本」定着状況調査の結果が、国・県の平均点以上 ○活用力の分析 ・NRTの活用する力を問う問題の正答率が全国の平均点以上</p>		
備考			

【様式1】平成27年度 県中校長会 Web ページ版教育便覧

市町名	東広島市	学校名	福富中学校
校長名	井村誠治	電話番号	082-435-2341
分野・領域	<input type="checkbox"/> 人材育成 <input type="checkbox"/> 学力・学習意欲 <input type="checkbox"/> 生徒指導 <input type="checkbox"/> キャリア教育 <input type="checkbox"/> 学校・家庭・地域の連携・協力 <input type="checkbox"/> 学校経営 <input type="checkbox"/> 服務研修 <input checked="" type="checkbox"/> 教育研究 <input type="checkbox"/> 進路指導 <input type="checkbox"/> 食育 <input type="checkbox"/> 教育課程 <input type="checkbox"/> 体力づくり <input type="checkbox"/> 情報教育 <input type="checkbox"/> 伝統文化 <input type="checkbox"/> 情報発信 <input type="checkbox"/> 危機管理 <input type="checkbox"/> その他（ ）		
研究主題	課題解決型授業の充実を中心とした指導方法の工夫改善 ～小規模校の特性をいかして～		
当該ページのアドレス	www2.city.higashihiroshima.hiroshima.jp/~fukutomi-chu/		
研究内容	<p> 《主題設定の理由》 本校ではこれまで、小規模校の特性を生かしてきめ細やかな指導を行い、確かな学力の育成に取り組み、特に言語活動の充実をテーマにあげて授業研究に取り組んできた。 そこで今年度は、小規模校の特性をいかした、かかわりきる指導により、「生徒が関心をもって取り組むことのできる課題の設定・発問の工夫・板書の工夫」を通した課題解決型授業を充実させていくこととした。 </p> <p> 《研究仮説》 「各教科において、小規模校の特性をいかし、言語活動を充実させた課題解決型の授業の工夫改善を行うことで、学力の向上を図ることができるであろう。」 </p> <p> 《研究内容》 (1) 言語活動を充実させた課題解決型の授業の工夫改善 (2) 思考力・判断力・表現力を深化・拡充させる発問の工夫改善 (3) 思考力・判断力・表現力の活用をうながす板書・手引きの工夫改善 </p>		
備考			

【様式1】平成27年度 県中校長会 Web ページ版教育便覧

市町名	東広島市	学校名	豊栄中学校
校長名	新谷 三平	電話番号	(082)432-2351
分野・領域	<input type="checkbox"/> 人材育成 <input type="checkbox"/> 学力・学習意欲 <input type="checkbox"/> 生徒指導 <input type="checkbox"/> キャリア教育 <input type="checkbox"/> 学校・家庭・地域の連携・協力 <input type="checkbox"/> 学校経営 <input type="checkbox"/> 服務研修 <input checked="" type="checkbox"/> 教育研究 <input type="checkbox"/> 進路指導 <input type="checkbox"/> 食育 <input type="checkbox"/> 教育課程 <input type="checkbox"/> 体力づくり <input type="checkbox"/> 情報教育 <input type="checkbox"/> 伝統文化 <input type="checkbox"/> 情報発信 <input type="checkbox"/> 危機管理 <input type="checkbox"/> その他 ()		
研究主題	「自ら学び，表現する生徒の育成」 ～ICT を効果的に活用した指導方法の工夫～		
当該ページのアドレス	www.city.higashihiroshima.hiroshima.jp/site/toyosaka-chu/		
研究内容	<p>①研究主題の設定について</p> <p>本校は，各クラスに電子黒板およびコンピューター・書画カメラが設置されており，デジタル教科書やパワーポイント・書画カメラ等を活用した授業も増えつつある。併せて職員研修を重ね，授業改善を図ってきた。その中で「基礎的・基本的な知識・技能を習得することや，習得した知識・技能を活用して課題を解決するために必要な思考力・判断力・表現力等を育成するうえで，ICT が効果的に働いている」ことがわかった。「ICT 機器は生徒の学ぶ力を向上させるための道具である」と教職員が認識し，ICT 機器を効果的に活用していくことが求められる。</p> <p>生徒に行った意識調査では，「自分は授業中によく発表をする」という設問に対して，肯定的意見は各教科で 50～60%であった。また，平成 26 年度全国学力・学習状況調査質問紙の「学校の授業などで，自分の考えを他の人に説明したり，文章に書いたりすることは難しいと思いますか」という設問に対しては，73.3%の生徒がそう感じていた。（全国 67.2%，県 65.7%）自分の意見を述べることに対する抵抗感が払拭できていない生徒が多いことがうかがえる。</p> <p>そこで，今年度はICT を効果的に活用することで，生徒が自ら学び，表現する力を高めることができるどの教科においては果的に活用し，生徒が互いに自分の考えを発表し，共有し合うことを通して主体的な学び合いに取り組ませることが，活用力の向上につながると考え，本主題を設定した。</p> <p>②研究仮説</p> <p>授業の中で，生徒にICT 機器を活用した資料提示や説明，発表等を行わせることによって，自ら学ぶ姿勢が培われ，表現力が向上するであろう。</p> <p>③研究内容</p> <p>本年度は，表現力を高めるための効果的なICT 活用について研究を進める。</p>		
備考			

【様式1】平成27年度 県中校長会 Web ページ版教育便覧

市町名	東広島市	学校名	河内中学校
校長名	清水則成	電話番号	082-437-1128
分野・領域	<input type="checkbox"/> 人材育成 <input type="checkbox"/> 学力・学習意欲 <input type="checkbox"/> 生徒指導 <input type="checkbox"/> キャリア教育 <input type="checkbox"/> 学校・家庭・地域の連携・協力 <input type="checkbox"/> 学校経営 <input type="checkbox"/> 服務研修 <input checked="" type="checkbox"/> 教育研究 <input type="checkbox"/> 進路指導 <input type="checkbox"/> 食育 <input type="checkbox"/> 教育課程 <input type="checkbox"/> 体力づくり <input type="checkbox"/> 情報教育 <input type="checkbox"/> 伝統文化 <input type="checkbox"/> 情報発信 <input type="checkbox"/> 危機管理 <input type="checkbox"/> その他 ()		
研究主題	「基礎学力と、表現力を高める授業の在り方」 —関連づけて考え、説明する活動を通して—		
当該ページのアドレス	www2.city.higashihiroshima.hiroshima.jp/~kochi-chu/		
研究内容	<p>【主題設定の理由】</p> <p>本校では表現力を「根拠をもって分かりやすく説明する力」と定義し、グループ活動によって効果があがる学習場面を設定することなどを中心に取り組んできた。</p> <p>本年度は、昨年度の研究を土台として継続しつつ、学びを主体的なものにしていくために、河内中学びのサイクル（思考→説明→まとめ→振り返り）の中の説明、振り返りの場面において、教科の既習内容、他教科の内容、実生活の内容などと、学んだことの関係やつながりを生徒に表現させる授業のあり方について研究を進めることとした。</p> <p>【研究仮説】</p> <p>各教科等において、基礎的・基本的な知識・技能を習得させて学習の基盤を構築し、「書く」「話す」といった言語活動や振り返りの場面で、教科の既習内容や他教科の内容、実生活の内容などと、学んだことの関係やつながりを表現させる活動を工夫することで生徒の基礎学力が高まり、表現力が身につくだろう。</p> <p>【研究内容】</p> <p>① 河内中学びのサイクルを基盤とした授業研究</p> <p>② 基礎的・基本的な知識・技能の定着を図るための、家庭学習も含めた効果的な指導方法の工夫</p> <p>③ 説明、振り返りの場面において、教科の既習内容、他教科の内容、実生活の内容などと、学んだことの関係やつながりを表現させる活動のあり方の研究</p>		
備考			

【様式1】平成27年度 県中校長会 Web ページ版教育便覧

市町名	東広島市	学校名	安芸津中学校
校長名	國崎 康裕	電話番号	0846-45-0158
分野・領域	<input type="checkbox"/> 人材育成 <input type="checkbox"/> 学力・学習意欲 <input type="checkbox"/> 生徒指導 <input type="checkbox"/> キャリア教育 <input type="checkbox"/> 学校・家庭・地域の連携・協力 <input type="checkbox"/> 学校経営 <input type="checkbox"/> 服務研修 <input checked="" type="checkbox"/> 教育研究 <input type="checkbox"/> 進路指導 <input type="checkbox"/> 食育 <input type="checkbox"/> 教育課程 <input type="checkbox"/> 体力づくり <input type="checkbox"/> 情報教育 <input type="checkbox"/> 伝統文化 <input type="checkbox"/> 情報発信 <input type="checkbox"/> 危機管理 <input type="checkbox"/> その他 ()		
当該ページのアドレス	http://www.city.higashihiroshima.hiroshima.jp/site/akitsu-chu/		
研究主題	表現力の育成を図る指導方法の工夫 —ねらいに迫る課題設定と表現の場の充実を目指して—		
研究内容	<p>1 主題設定の理由 昨年度の研究から思考の場のサイクルの実施と生徒の発信の場の設定を意図的に設けることで、生徒の表現に関する意欲や学力などが向上することが分析できた。 一方、各教科の単元や授業のねらいを達成するための適切な課題設定と表現や話し合いをさせる場の充実が必要であること、自分なりの表現の構築や努力を要する生徒に対しての手立てに関する研究や実践が不十分であったことがわかった。 そこで、昨年度の研究主題を継続し、各教科・単元のつけたい力に対して、適切な課題設定のための研究とともに生徒に表現させる方法や手立てを充実させるための研究を行う。</p> <p>2 研究仮説 各教科の中でねらいを達成するための適切な課題設定を行い、思考の場のサイクルや表現の場の設定を行うことで、生徒の学力は向上するであろう。 また、表現の手引きの作成や効果的な道具の活用を行うことで、様々な表現方法を身につけるなど表現力の育成につながるであろう。</p> <p>3 研究内容 (1) 各教科・単元のつけたい力を確認・把握し、表現力を育成するために適した単元の開発を行う。 (2) 生徒が自分なりの表現の方法や表現の種類を構築するための手引きや表現するための効果的な道具の活用方法の開発を行う。 (3) 各授業でねらいを達成するための課題と思考の場のサイクルや表現する場を適切に設定する。</p>		
備考			

【様式1】平成27年度 県中校長会 Web ページ版教育便覧

市町名	東広島市	学校名	中央中学校
校長名	左田和幸	電話番号	082-431-5055
分野・領域	<input type="checkbox"/> 人材育成 <input checked="" type="checkbox"/> 学力・学習意欲 <input checked="" type="checkbox"/> 生徒指導 <input type="checkbox"/> キャリア教育 <input type="checkbox"/> 学校・家庭・地域の連携・協力 <input type="checkbox"/> 学校経営 <input type="checkbox"/> 服務研修 <input checked="" type="checkbox"/> 教育研究 <input type="checkbox"/> 進路指導 <input type="checkbox"/> 食育 <input type="checkbox"/> 教育課程 <input type="checkbox"/> 体力づくり <input type="checkbox"/> 情報教育 <input checked="" type="checkbox"/> 伝統文化 <input type="checkbox"/> 情報発信 <input type="checkbox"/> 危機管理 <input type="checkbox"/> その他（ ）		
研究主題	「主体的な学びを育成する授業の創造」 ～「論理的思考モデル」を導入した『課題発見・解決学習』を通して～		
当該ページのアドレス	www.city.higashihiroshima.hiroshima.jp/site/chuou-chu/		
研究内容	<p>①研究主題の設定について</p> <p>昨年度は、各教科において「論理的思考力」の定義付けをし、授業を4つのステップで構成することを通して生徒の「論理的思考力」を育む研究を進めていった。</p> <p>その結果、全国学力・学習状況調査では、全国や県の通過率を上回り、基礎・基本及び活用力の定着状況は概ね良好であった。さらに、教職員の授業改善意識も高まり、教師が教え込む授業から、課題発見・解決型学習へと転換しつつある。</p> <p>しかし、全教科で共通した『論理的思考モデル』ではなく、教科独自のものであった。さらに、教科の特性を考慮することなく、授業を4つのステップで構成したことにより、授業展開が難しい教科もあった。</p> <p>そこで本年度は、全教科で使える課題発見・解決学習を取り入れた『論理的思考モデル』を作成し、より具体的に「論理的思考力」を育む手立てを講じていく。さらに、4つのステップについても、教科の特性に応じた授業展開について、再検討を行いたい。こうした研究を進めることで、広島県が平成30年度に全県展開しようとしている生徒の主体的な学びを促す「課題発見・解決学習」の効果的な在り方を探ることができるものとする。</p> <p>②研究仮説</p> <p>授業において、『論理的思考モデル』を課題発見・解決学習に取り入れた学習を展開するとともに、教科の特性に応じた授業構成を検討・実践することで、生徒の主体的な学びが育成されるであろう。</p> <p>③研究内容</p> <ul style="list-style-type: none"> ・『論理的思考モデル』について文献研究をし、本校独自の『論理的思考モデル』を作成する。 ・教科の特性に応じた論理的思考力の育成に関する研究。 ・主体的な学習活動で育成されるコンピテンシー等とその評価に関する研究。 		
備考			

【様式1】平成27年度 県中校長会 Web ページ版教育便覧

市町名	東広島市	学校名	もみじ中学校
校長名	中谷 成男	電話番号	082-420-9131
分野・領域	<input type="checkbox"/> 人材育成 <input type="checkbox"/> 学力・学習意欲 <input type="checkbox"/> 生徒指導 <input type="checkbox"/> キャリア教育 <input type="checkbox"/> 学校・家庭・地域の連携・協力 <input type="checkbox"/> 学校経営 <input type="checkbox"/> 服務研修 <input checked="" type="checkbox"/> 教育研究 <input type="checkbox"/> 進路指導 <input type="checkbox"/> 食育 <input type="checkbox"/> 教育課程 <input type="checkbox"/> 体力づくり <input type="checkbox"/> 情報教育 <input type="checkbox"/> 伝統文化 <input type="checkbox"/> 情報発信 <input type="checkbox"/> 危機管理 <input type="checkbox"/> その他 ()		
研究主題	児童生徒一人一人に「学力」をはぐくむ ～教職員と学園職員が連携した学習指導を通して～		
当該ページのアドレス	本年度開校したこともあり、現在開設準備中		
研究内容	<p>【主題設定の理由】</p> <p>本校の児童生徒は、生育歴・養育環境・被教育体験等が様々で、主体的に学習に取り組む態度に課題があり、学習到達度における個人差も大きい。また、特別な配慮を要すると診断を受けている児童生徒も多い。よって、一人一人の個性を生かしつつ、個々の実態に応じた指導を充実させることで「学力」の定着を図る必要がある。</p> <p>本校は、児童自立支援施設内の学校のため、教職員による学習指導と学園職員による家庭学習指導を連携して行うことや、教職員と学園職員による児童生徒の習熟度に応じた学習、あるいはチームティーチングによる指導が可能である。これらを本校の強みとし、児童生徒の学力定着と学習意欲の向上を図るため本研究主題を設定した。</p> <p>【研究仮説】</p> <p>教職員と学園職員が連携した学習指導を行えば、児童生徒一人一人に学力をはぐくむことができるであろう。</p> <p>【研究内容】</p> <p>児童生徒一人一人に学力をはぐくむ教職員と学園職員が連携した学習指導として、次の2点を研究する。</p> <p>(1) 習熟度別指導及びチームティーチングの在り方 (2) 学習指導と家庭学習指導の連携の在り方</p> <p>【検証の視点及び指標】</p> <p>(1) 児童生徒一人一人に主体的に学習に取り組む態度を養うことができたか。(授業観察時における行動観察) (2) 基礎的・基本的な知識・技能を習得させることができたか。 (自作テスト：中、単元末テスト：小 等)</p>		
備考			

